

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条4の7第4項

【提出先】 北海道財務局長

【提出日】 平成27年10月5日

【四半期会計期間】 第44期第3四半期(自 平成26年2月1日 至 平成27年4月30日)

【会社名】 総合商研株式会社

【英訳名】 SOUGOU SHOUKEN CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長 加藤 優

【本店の所在の場所】 札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48号

【電話番号】 011(780)5677

【事務連絡者氏名】 企画管理本部部長 太田 健一

【最寄りの連絡場所】 札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48号

【電話番号】 011(780)5677

【事務連絡者氏名】 企画管理本部部長 太田 健一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年6月12日に提出いたしました第44期（自平成26年8月1日至平成27年4月30日）に係る四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第2 事業の状況

#### 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

##### (1)業績の状況

#### 第4 経理の状況

#### 1 四半期連結財務諸表

##### 注記事項

(セグメント情報等)

##### セグメント情報

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_を付して表示しております。

### 第一部【企業情報】

#### 第2【事業の状況】

#### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

##### (1)業績の状況

(省略)

(訂正前)

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

##### (商業印刷事業)

商業印刷事業においては、新規営業の強化や、既存顧客との取引拡大の推進を行ってまいりましたが、昨年の増税による特需効果が剥落したことや不採算事業の見直し等により、当事業の売上高は7,604百万円（前年同四半期比260百万円減）となりました。

利益につきましては、採算管理の徹底により利益改善を進めましたが、売上減少の影響を吸収しきれず、営業損失は63百万円（前年同四半期の営業損失は47百万円）となりました。

##### (年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業においては、大口顧客からの受注が大幅に増加したことで、全体での取扱い件数も増加（前年同期比117%）し、当事業の売上高は5,773百万円（前年同四半期比700百万円増）となりました。

利益につきましては、取扱件数増加に伴う外注費の増加や設備投資による減価償却費の増加により、営業利益は766百万円（前年同四半期比20百万円減）となりました。

##### (その他)

その他においては、北海道内の2店舗のプリントハウスにおいて、DPE、オンデマンドプリント等の商品・サービスの提供を行った結果、売上高は38百万円（前年同四半期比2百万円増）、営業損失は10百万円（前年同四半期の営業損失は9百万円）となりました。

(訂正後)

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(商業印刷事業)

商業印刷事業においては、新規営業の強化や、既存顧客との取引拡大の推進を行ってまいりましたが、昨年の増税による特需効果が剥落したことや不採算事業の見直し等により、当事業の売上高は7,169百万円(前年同四半期比220百万円減)となりました。

利益につきましては、採算管理の徹底により利益改善を進めましたが、売上減少の影響を吸収しきれず、営業利益は167百万円(前年同四半期比94百万円減)となりました。

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業においては、大口顧客からの受注が大幅に増加したことで、全体での取扱い件数も増加(前年同期比117%)し、当事業の売上高は5,773百万円(前年同四半期比700百万円増)となりました。

利益につきましては、取扱件数増加に伴う外注費の増加や設備投資による減価償却費の増加により、営業利益は616百万円(前年同四半期比26百万円減)となりました。

(ふりっばー事業)

ふりっばー事業においては、受注の採算性を見直し、利益重視へと営業戦略を変更した結果、当事業の売上高は392百万円(前年同四半期比22百万円減)、営業損失は26百万円(前年同四半期の営業損失は97百万円)となりました。

(その他)

その他においては、北海道内の2店舗のプリントハウスにおいて、DPE、オンデマンドプリント等の商品・サービスの提供を行った結果、売上高は81百万円(前年同四半期比15百万円減)、営業損失は19百万円(前年同四半期の営業損失は22百万円)となりました。

## 第4【経理の状況】

### 1【四半期連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成26年4月30日)

#### 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,864,778	5,072,593	12,937,371	36,750	12,974,122		12,974,122
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9,974	3,209	13,184	2,918	16,103	16,103	
計	7,874,752	5,075,803	12,950,556	39,669	12,990,225	16,103	12,974,122
セグメント利益 又は損失( )	47,119	786,870	739,751	9,849	729,902	236,728	493,173

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失( )の調整額 236,728千円には、セグメント間取引消去9,601千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 246,330千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年8月1日至平成27年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,604,286	5,773,307	13,377,594	38,765	13,416,359		13,416,359
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,233	3,035	8,269	1,844	10,113	10,113	
計	7,609,520	5,776,343	13,385,863	40,609	13,426,473	10,113	13,416,359
セグメント利益 又は損失( )	63,138	766,271	703,132	10,126	693,006	280,018	412,987

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。  
 2 セグメント利益又は損失( )の調整額 280,018千円には、セグメント間取引消去2,949千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 282,968千円が含まれております。  
 3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年8月1日至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注 3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	ふりっぱー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,389,731	5,072,593	415,182	12,877,508	96,613	12,974,122		12,974,122
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	48,225	3,209	33,786	85,222	2,884	88,106	88,106	
計	7,437,957	5,075,803	448,969	12,962,730	99,497	13,062,228	88,106	12,974,122
セグメント利益 又は損失( )	262,820	643,456	97,713	808,563	22,200	786,362	293,189	493,173

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業等を含んでおります。  
 2 セグメント利益又は損失( )の調整額 293,189千円には、セグメント間取引消去9,601千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 302,790千円が含まれております。  
 3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年8月1日 至 平成27年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注 3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	ふりっぱー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,169,089	5,773,307	392,431	13,334,828	81,530	13,416,359		13,416,359
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	50,645	3,035	21,897	75,578	1,799	77,378	77,378	
計	7,219,734	5,776,343	414,328	13,410,407	83,330	13,493,737	77,378	13,416,359
セグメント利益 又は損失( )	167,937	616,582	26,996	757,523	19,070	738,452	325,465	412,987

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失( )の調整額 325,465千円には、セグメント間取引消去2,949千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 328,414千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。